

<対策のポイント>

スマート農業の実装に当たっては、**スマート農業機械等を使いこなし、データを経営に活かすことができる人材の育成が重要**です。
 このため、農業大学校や農業高校等の農業教育機関の学生及び教員、農業者等が、**スマート農業について体系的に学ぶことができる環境整備**を行います。

<事業目標>

全農業大学校でスマート農業をカリキュラム化 [令和4年度まで]

<事業の内容>

スマート農業に精通する人材の育成を進めるためには、
 ・ **スマート農業に関心を持つ学生や経営を発展させたい農業者等が、いつでも誰でもスマート農業について体系的に学ぶことができるようにするとともに、**
 ・ **教育機関の教員が、スマート農業について十分に教えられるようにすることが必要**です。このため、以下の取組に対する支援を行います。

1. スマート農業拠点校の設置

拠点校（民間教育機関・大学含む）において、モデルとなる最先端のスマート農業教育を行うことで、他の農業教育機関等への波及を推進

2. スマート農業塾の実施

現役農業者が、最新のスマート農業技術を習得できる研修を実施

3. スマート農業教材の充実

農業教育機関における講義や、意欲的な学生・生徒の自習に活用できる、将来のスマート農業のエキスパート養成に資する教材を充実

4. 教員向けスマート農業研修の実施

学生、生徒がスマート農業教育を十分に習得できるよう、教員のスキルアップを図ることで、教育の充実を推進

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. スマート農業拠点校



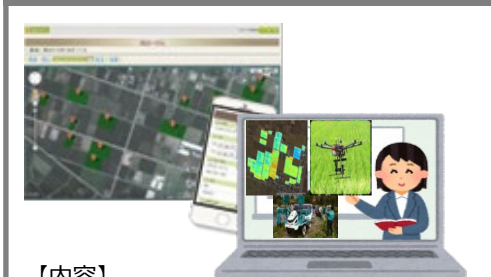
【内容】
 スマート農業拠点校を設置し、
 ・当該学校における講義の配信
 ・全国の学生等による研修の受入 等を実施

2. スマート農業塾



【内容】
 現役農業者等を対象に、スマート農業について体系的に学べる研修を展開

3. 教材の充実



【内容】
 オンライン教材等の教育コンテンツを充実

4. 教員向けスマート農業研修



【内容】
 農業大学校や農業高校の教員が、体系的に学ぶことができる研修を実施
 ・最新のスマート農業の現状を習得できる講座
 ・スマート農業を実践している現場での研修